

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		ちゃおチャイルドアカデミー		公表日			R07年03月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		スペース、人数に見合った活動内容を心がける。	良い評価をもらっているので、今後も努力する。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	活動内容を鑑み、適時人員の増員等を行う。	事業所内での評価が満点ではないので、職員間の情報の共有に努める。徹底する。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		階段、段差など、適時職員が付き添うなど配慮している。	自己評価と保護者の評価に差がみられるので、事業所内で再確認、徹底を図る。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			保護者の方からも良い評価を頂いているので、職員間でこれからも徹底する。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		保護者の要望や、子どもの様子を職員間で共有する。	今の状態を維持するよう努める		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	特に工夫がなかったように思われます	職員間や、関係機関にも参加を呼び掛けるよう努めます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			今の状態を継続できるよう努める。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3		職員間のコミュニケーション、及び情報共有の機会を増やすように努める。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		第三者による外部評価の実施を検討してみる。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2		全体的に職員課の情報共有、コミュニケーションが足りていない結果を鑑み、今後機会を増やしていく。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			保護者にしっかりと伝わっていない部分があるようなので、公表の在り方を工夫するよう心がける。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1		保護者からのニーズの職員間での共有を強化する。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			今後も職員間での情報共有に一層努めます。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	個々の子供たちのニーズと、支援計画のすり合わせを考えつつ、計画の遂行を目指す	職員と管理責任者との連携をさらに強化していきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		個々の子供たちの日々の行動を見逃すことの無いよう、職員間の連携に努めます。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			今後も適切な支援内容の設定に努めます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			今後も疎かにならないよう、チーム内の連携、情報共有に努めます。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		チーム内での意見交換を活発にする	今後も今の状態を維持できるように努めます。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			子どもの状況を見逃さないよう、今後も職員間の連携に努めます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			今後も欠かさず続けます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			今後も欠かさず続けます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			全ての支援に必要な不可欠な作業ですので、今後も徹底していくよう努めます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			職員間、管理者との連携、保護者の意見等を適切な共有し、都度確認作業を徹底していきます。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			今後も一層適切な人員配置に努めます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			いざという時に適切なケアを受けられるよう、今後も地域と漏れなく努めます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			個々の子供の状況に応じた対応ができるよう、今後も関係機関との連携を図っていきます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			今後も関係機関との情報共有、連携に努めていきます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1			もう少し機会を増やせるよう検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1			保護者からの評価も高くなかったため、交流の機会を増やせるよう検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				保護者からの声を職員間でさらに共有実践できるように今後も努めます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	必要に応じて個別に対応できるよう機会を設けています。		さらに機会を増やせるよう、調整に努めます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				説明がしっかり伝わっているか、保護者との連携をさらに強化するよう努めます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				今後も家族、保護者の意向を漏らさないよう、体制の強化に努めます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				今後も確認を怠らないよう、職員間の意識の徹底を行います。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				必要に応じて、個別にも対応できるよう今後も努めます。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		保護者とのコミュニケーションが疎かにならないよう、今後も常に情報の公開、共有に努めます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		常に子供状態、保護者からの声を漏らさないよう、職員間で徹底しています。	今後も相談の機会を増やすなど、対応に努めていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			情報の発信公開に努めているが、ホームページのデザインなど、再考してみる。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			今後も慎重の上に慎重を重ねていくよう努めます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			保護者からの満足度の高い部分ですので、今後もより一層の研鑽に努めていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		地域との連携や情報公開など改善できるところがないか、再考してみます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		訓練の機会を増やせるよう、検討してみます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		これも訓練の機会を増やせるよう検討してみます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1		急な状況にも対応できるよう、また保護者に安心してもらえるよう確認の強化に努めます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		職員間での情報共有が疎かにならないよう、保護者からの情報などしっかり共有できるよう努めます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			今後も安全管理に抜かりがないよう努めていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			保護者の不安を払しょくできるよう、今後も周知徹底を図ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			今後も、あらゆるパターンについて、職員間での情報の共有に努めていきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		定期的な研修会を、今後も続けていきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		保護者の不安を払しょくできるよう、今後もさらに説明の機会を設けていきます。	